

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

沖縄県		
学校名	管理機関名	設置者の別
金武町立金武小学校	金武町教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL等
金武町立 金武小学校	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和2年度特別の教育課程の自己評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-01.html	金武町立金武小学校ウェブサイト 令和2年度特別の教育課程の学校関係者評価結果について http://kin-ed.sakura.ne.jp/kinshou/ ks_syokai/ks-english-02.html

※8月末までに上記URLにおいて公開

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必須となるグローバルな視野を持った人材を育成するため、1～4学年に「英語活動」を設置し、「外国語活動」と合わせて年間34～50時間を英語教育に充てる。

- ・小学校1学年において、音楽を11時間、図画工作を11時間、体育を12時間削減し、34時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校2学年において、音楽を10時間、図画工作を10時間、体育を15時間削減し、35時間の「英語活動」を設置する。
- ・小学校3～4学年において、総合的な学習の時間を15時間削減し、外国語活動とあわせて、3・4年生で50時間の「英語活動」を設置する。

※教育課程全体は【別表1】の教育課程編成表を参照

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

金武町は、明治・大正時代、當山久三翁に代表されるように、ハワイをはじめ北米・フィリピン・中南米への海外移民の先駆をなし、現在多くの方々が現地で活躍している。そのような歴史的背景から海外移住者子弟等の受け入れ事業、ハワイ州カポレイミドルスクール姉妹校交流事業、ハワイ短期留学派遣事業、海外ホームステイ派遣事業等の国際交流事業が行われてきた。

金武町は、リゾート施設(外国資本)・医療施設・リハビリ施設等の一体型施設が着実

に建設されており、英語を使える人材の育成が望まれている。よって、平成27年度以降、小中が連携した系統的・段階的な英語活動(英会話科)の推進で、本町の掲げる「国際性に富んだ人材育成」を図っている。

(3) 特例の適用開始日

平成27年4月1日

平成30年4月1日 変更

令和2年4月1日 変更

(4) 取組の期間

令和5年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- 実施している
- 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

金武小学校では「くじけず最後までやりぬく子」を大きな柱とし、「すすんで学習し深く考える子」「思いやりがあり仲良くできる子」「じょうぶで明るい子」を教育目標に掲げている。また、国際理解教育の目標として、①他国の文化や言語に興味・関心を持ち、尊重する態度を育てる。②自国の文化や伝統に対して理解を深め、誇りを持つ。③自分と異なる見方や考え方をする人々を正しく理解し、大切にしようとする人権尊重の精神を育てる。④英語によるコミュニケーション能力の素地を養う。を基に低・中学年別に目指す子ども

像を立て、日々の英語活動に取り組んでいる。

児童アンケートを見ると、どの学年も友達と楽しみながら、英語活動を行っていることがうかがえる。設問2「どんなことが楽しいか」の回答で、低学年においては、ゲームや歌・ダンスなど ICT 教材を活用して楽しく学習している。中学年においては、ゲームなどを通し、単語だけではなく短い英文で発表ややり取りを高学年に向けて楽しみながら、英語活動を行っている。

特に、町内英語指導員との文化交流やハロウィンなどのイベントを通し、児童は他国の文化や言語に興味・関心を持ち、自分と異なる見方や考え方を理解し、大切にしようとする人権尊重の精神にも視点を当てられるよう計画している。

設問10「英語を勉強することは大切だと思う」の割合は、全学年で高い割合を示しており児童が英語の授業を前向きにとらえていると考える。特に、金武町には米軍基地があり、基地従業員や基地関係者として働く家族も多く、学校以外でも外国人と関わる機会があり、身近に英語を必要と考える児童も多いことがわかる。

【別表2】

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

金武小学校において、英語活動では、コミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、英語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成することを目指し、体験的に活動している。

また、各教科に横断的に取り入れるシステム作りも意識しながら、他教科の単元と組み合わせることで実施することにより、児童の意欲につなげようとしている。

例1 算数：図形： triangle, square, circle, line など

例2 図工：描く： color, red, blue, white, など

例3 社会：地図： map, school, turn right, go straight など

クイズ大会などの異年齢交流、総合的な学習の時間では地域の文化理解を通して、他者や異文化の理解などを意識しながら、英語で聞いたり話したりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養いながら、英語活動に取り組んでいる。

5. 課題の改善のための取組の方向性

4に示したことを踏まえて、成果・課題・今後の方向性を以下に記す。

(1) 成果

- ・児童の9割以上が英語の授業を楽しんでいる。
- ・英語を使うことへの抵抗感がなくなっている。
- ・保護者からは今後も取組を継続してほしいという意見が多い。
- ・外国語の互見授業を実施することができ、小学校と中学校の教諭及びALT・JTEがお互いの授業を見学することで理解を深めることができた。
- ・中学年の文化交流授業として、町内の英語教諭ALT・JTEから出身地や移住地に

ついでに紹介を町内小学校3校にて実施し、英語を話す国が何か国かあることなど知識を深めることができた。

(2) 課題

- ・町全体の年間カリキュラムを他教科と関連付けた学年の学びに合わせたトピックや内容の再検討が必要
- ・チームティーチングの充実
- ・内容面の充実
- ・担任やALTによってスモールトークの取組にばらつきがあった。
- ・年度初めのオリエンテーションを通し担任との連携を深める必要がある。

(3) 今後の取組の方向性

- ・同世代の外国人や保護者等のネイティブスピーカーとの交流町での取り組みを検討・内容充実
- ・スモールトークの充実
- ・担任とALT・JTEとの打合せの時間の確保

6. 資料

- (1) 教育課程特例校に関する教育課程編成表 【別表1】
- (2) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート(1年~4年) 【別表2】
- (3) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート(教師) 【別表3】
- (4) 令和4年度教育課程特例校に関するアンケート(保護者) 【別表4】

【別表 1】 教育課程特例校に関する教育課程編成表

1. 金武町立全小学校

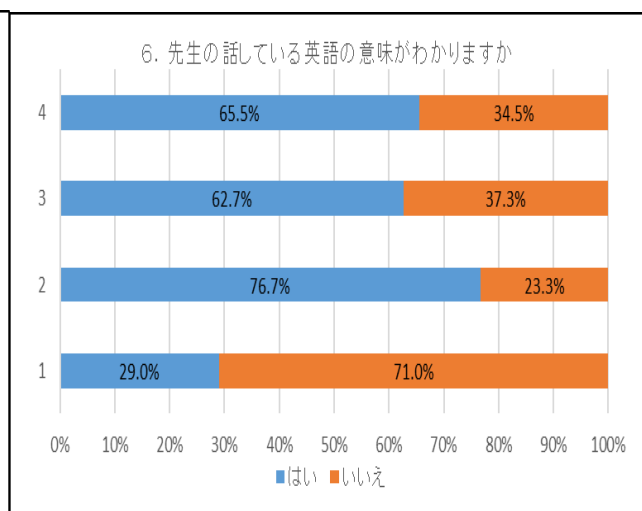
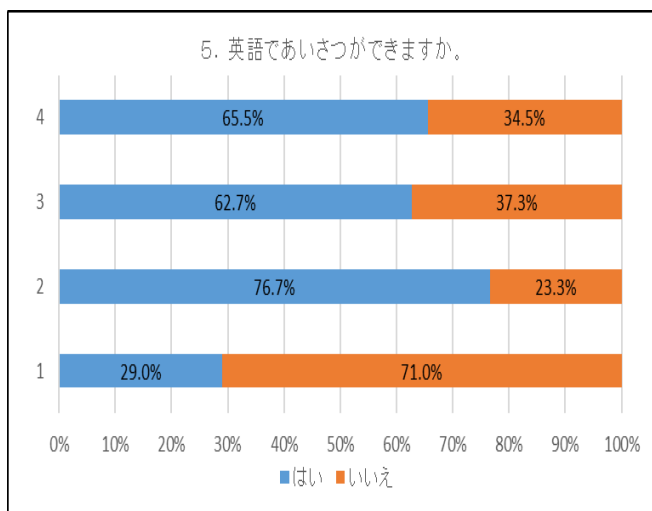
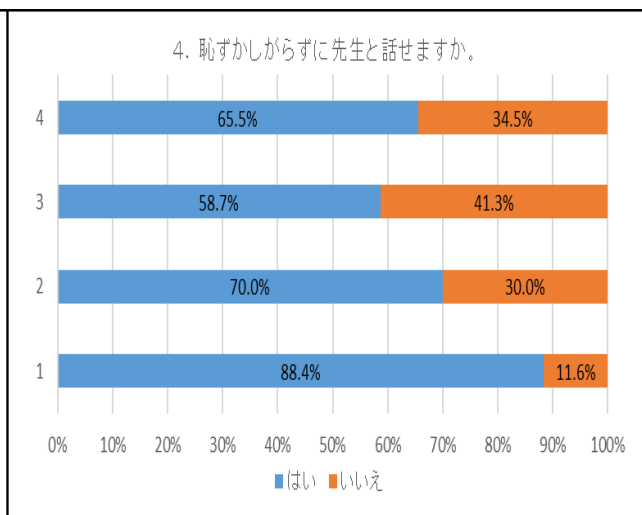
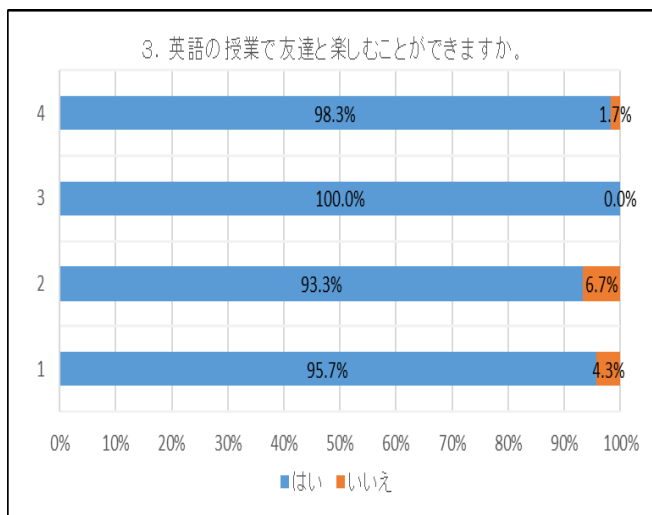
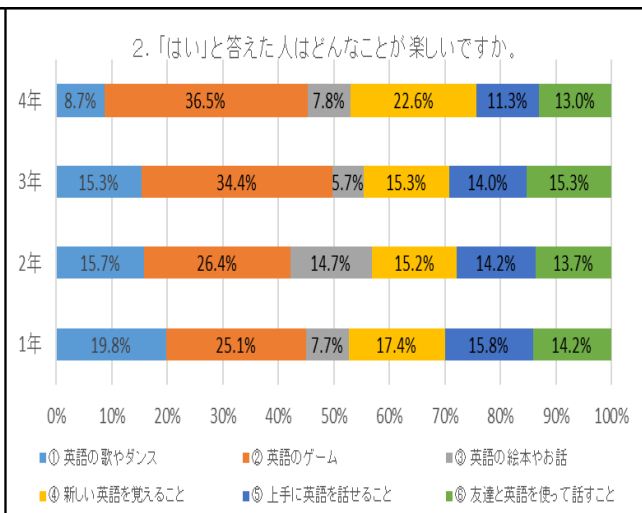
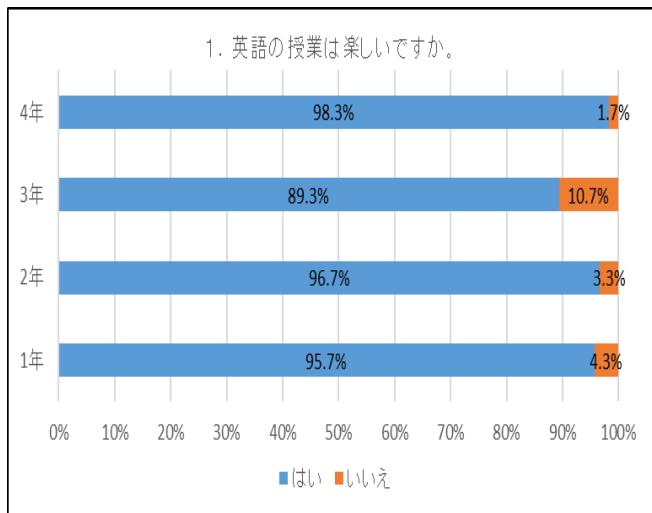
区分	各教科の授業時数									道徳の授業数	特別活動の授業時数	総合的な学習の時間の授業数	外国語活動・外国語科の授業時数	特例校(英語活動)の授業時数	総授業数
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育						
第1学年	306		136		102	57 (-11)	57 (-11)		90 (-12)	34	34			34 (+34)	850
第2学年	315		175		105	60 (-10)	60 (-10)		90 (-15)	35	35			35 (+35)	910
第3学年	245	70	175	90		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	980
第4学年	245	90	175	105		60	60		105	35	35	55 (-15)	35	15	1015
第5学年	175	100	175	105		50	50	60	90	35	35	70	70		1015
第6学年	175	105	175	105		50	50	55	90	35	35	70	70		1015
合計	1461	365	1011	405	207	337 (-21)	337 (-21)	115	570 (-27)	209	209	250 (-30)	210	99	5785

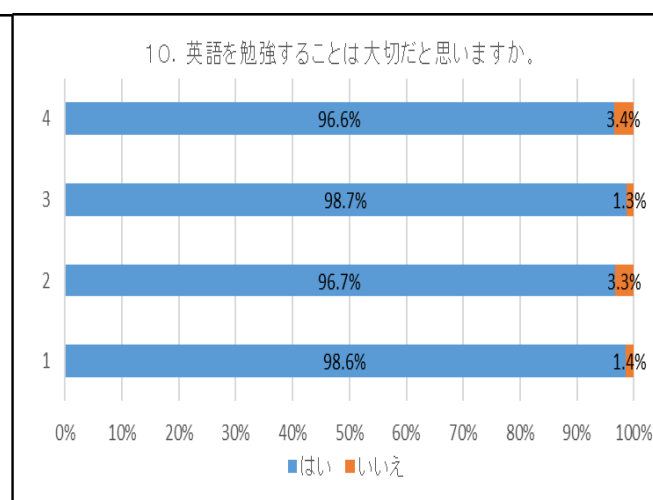
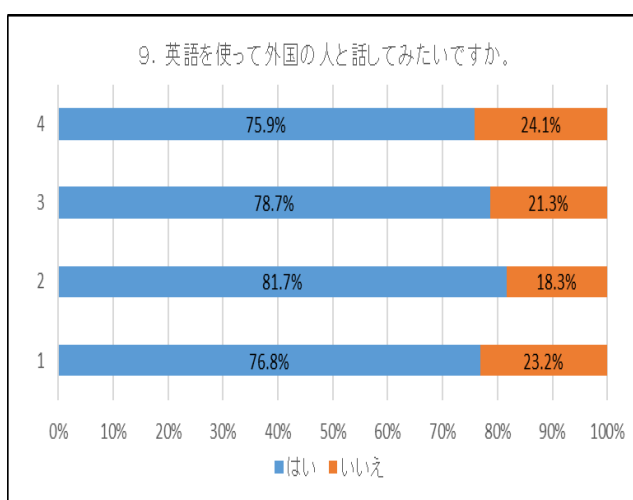
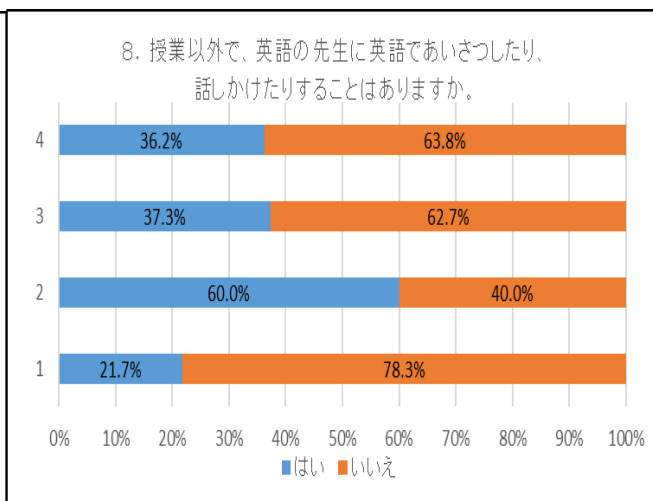
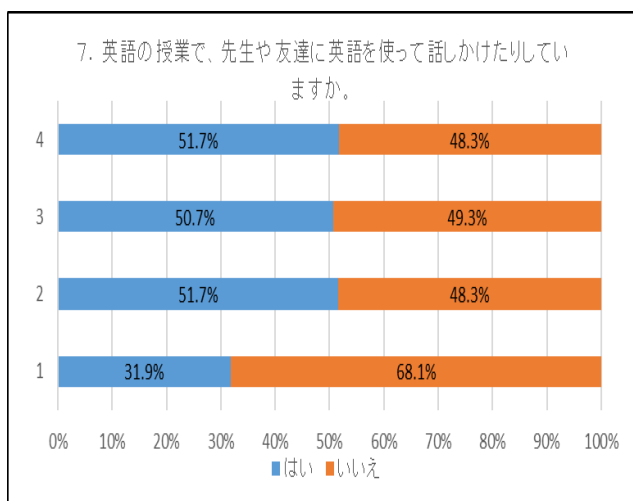
※ 第3学年～第4学年においては、「総合的な学習の時間」15時間を削除する。

※ 標準授業時数と異なる授業時数を設定する教科等については、標準授業時数からの増減を()で記入し、網掛けにて表記。

【別表2】令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）

令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（1年～4年）集計表 金武小学校





児童(1～4年)へ行ったアンケートには、下記のような感想がよせられた。(抜粋)

設問 10. 英語を勉強することは大切だと思いますか。なぜそう思いますか。

<1・2年生>

- ・アメリカのおじいさんとしゃべれるになりたい。
- ・外国にりょこうに行ったとき英語をわかるように。(18人)
- ・外国の人がまよっていたら上手にえいごでしゃべってたすけたい。
- ・さいしょは英語がしゃべれなかったけど、英語のべんきょうをしてとても上手に話せるようになったから。
- ・えいごがしゃべれなかったらしょうらいがっこうで英語の先生になれないから。
- ・英語は世界のきょうつう語だからりゅうがくなどに使うと思ったから。
- ・えい語をおぼえないとほかのくににいけないから。

<3・4年生>

- ・日本語がわからない人とはなしたいときに英語の勉強をしていたら話ができると思うから。(4人)
- ・困っている外国人を助けることができるから。(2人)
- ・外国に行ったとき自分の気持ちを伝えられないから。(4人)
- ・大切だから。(2人)

- ・未来の自分にやくだつから。(9人)
- ・外国に行くとき英語が必要だから。(26人)
- ・世界の人と話せると自分の世界が広がるから。
- ・大人になって仕事をするとき英語を使う時役立つから。(8人)
- ・世界の人と友だちになったり話せるから。(5人)
- ・他の国の人とおしゃべりができるから。(16人)
- ・外国に行ったら色々な人と話せて楽しいから。(3人)
- ・もし外国人に何かを聞かれても会話ができるようになるから。(9人)

設問 11. 英語を勉強してうれしかったことは何ですか。

< 1・2年生 >

- ・ゲームがとってもわかりやすく楽しい。(20人)
- ・1がっきはできなかつたけど3がっきなつてできるようになつてうれしい。(4人)
- ・ゲームやダンスがおもしろかつた。(3人)
- ・えいごがちょっとしゃべれるようになった。(12人)
- ・外国人にあつたときハローと言えました。(3人)
- ・えいごでゲームをしたり人とはなしたりすること。(19人)
- ・お父さん、お母さんにほめられたから。えいごをおうちで言えたりがっこうでいえてうれしかつた。

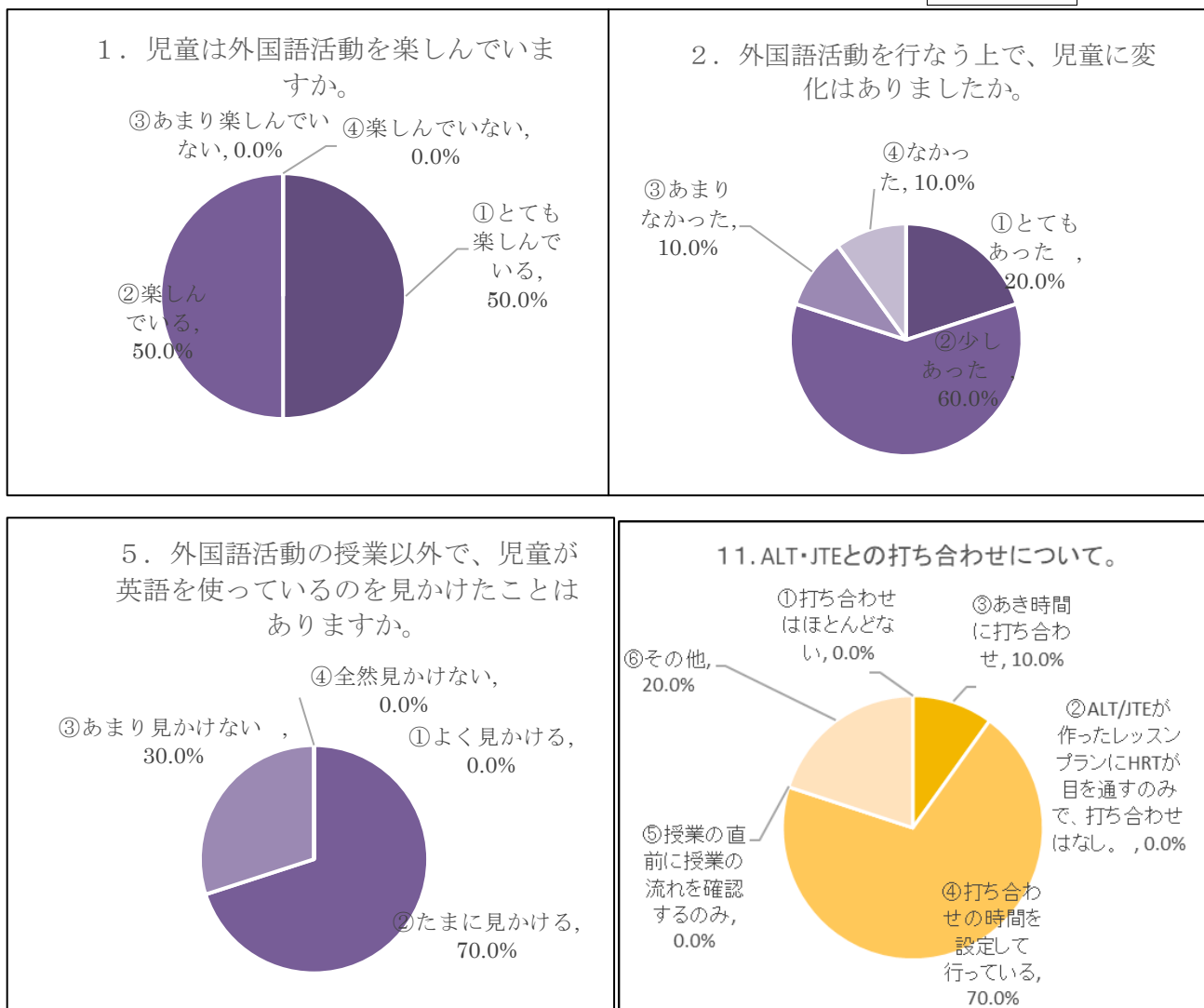
< 3・4年生 >

- ・英語を使つてゲームができること。(16人)
- ・家族に発音が良いねとほめられたこと。(2人)
- ・友だちとちゃんと英語でしゃべれたこと。(3人)
- ・新しい英語が覚えられたこと。(14人)
- ・塾に行つて、英語の発音がうまい！と言われたこと。
- ・みんなといっしょに英語できるから。(9人)
- ・英語が話せるようになった。(20人)
- ・英語の先生が話してる意味がわかるようになったこと。友だちと英語で話せるようになったこと。
- ・前まで苦手だつた英語が得意になつたこと。
- ・先生が英語をわかりやすいやり方で教えてくれる。
- ・英語で自分の名前をいえるようになった。
- ・クリスマスパーティーが楽しかつた。
- ・英語を勉強してお家の人に問題を出したりして楽しかつたし、この英語わかるんだすごいと言われて嬉しかつた。
- ・英語のテストで満点取つたとき。
- ・英語であいさつができたこと。(2人)
- ・難しい発音を何回も練習してできたとき。(2人)

【別表3】令和4年度教育課程特例校に関するアンケート（教師）

令和4年度 英語活動に関するアンケート（教師用）

金武小学校



教師へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。(抜粋)

設問3. 児童に変化が「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・将来、英語を使う職業について関心が高まった。
- ・英語を使って話そうとする児童が増えた。
- ・人前で発表するようになった。
- ・帰りの会での、「いいこと発見タイム」や授業中の発表者に対して、「good job!!」などの声かけができるようになった。また、数を数える際に英語で数えることもある。
- ・日常的な英語で質問したら英語で答えられるようになった。(例→How are you? What day is it, today? How is the weather, today?)
- ・曜日や天気などを英語で答えようとする子が多くなった。
- ・2・3学期になるにつれ、Tからの英語の質問にスラスラ英語で返答できるようになった。
- ・家庭学習でアルファベットや簡単な単語を練習するようになった。

設問7. 先生自身に変化は「①とてもあった」「②少しあった」と答えた方、どのような変化があったか。

- ・英語に興味が高まった。
- ・今年度は低学年との交流もあり、他学年の先生方同士も交流でき、学びあえた。
- ・ALTと協力した授業の進め方が定着してきた。はじめはどのように英語の授業を進めたらよいのかわからなかったが、だんだん楽しくなってきた。歌を歌ったり、ダンスをしたりすることで、楽しみながら英語を覚えることができた。
- ・簡単な日常会話などにジェスチャーや感嘆詞を使っている。
- ・英語の教材を知るきっかけになった。児童が楽しんで英語活動に取り組むための手立てがわかった。
- ・HRTがサブではなく、どんどん発言したり授業を進めたりすることで、自信につながった。
- ・英語で発問するので児童が理解しやすいような見通しを持たせるようになった。

設問9. 外国語活動の授業を行うことを「①とても楽しい」「②楽しい」と答えた方はどんなことが楽しいですか。「③不安」「④苦痛」と答えた方は、どんなことが不安/苦痛ですか。

「①とても楽しい」「②楽しい」

- ・他学年との交流やグループ学習。
- ・子どもたちと一緒に英語を学びながら自分自身の学びにもなるし、できるだけ英語を使って会話をしようとするので子どもたちもそれに答えようとしてくれる反応を見るのも楽しい。
- ・アクティビティーを交えた練習がよい。
- ・児童が楽しそうに活動していること。
- ・英語をはなすこと。外国の文化を知れること。JTEから様々なゲームやアイデアを学ぶこと。

「③不安」「④苦痛」

- ・なし(2人)
- ・英語力、語彙、発音

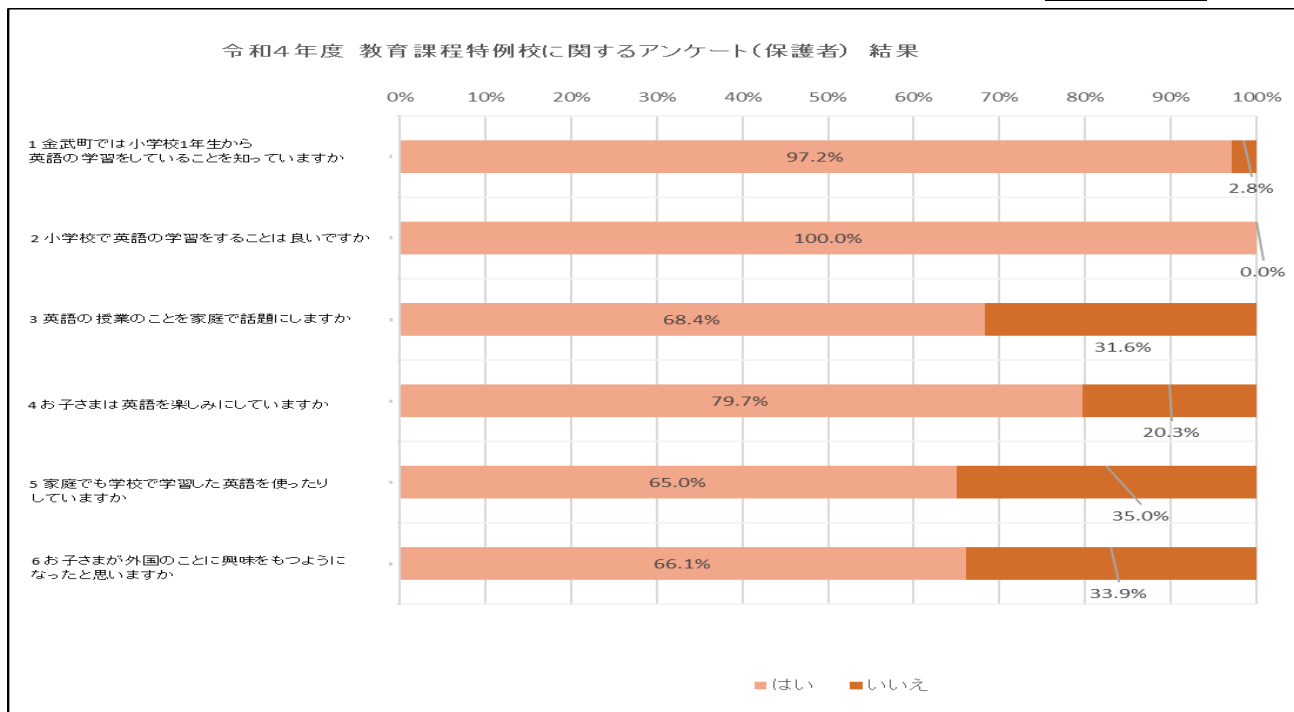
- ・時間の調整が難しく、打ち合わせができなかった時の授業の進め方が不安。自分の英語能力の低さを実感している。
- ・1人で進めるとなると不安。

設問 13. その他（1年間やってみての感想や、意見など）

- ・ALTに何度も質問して、そのたびに優しく教えてくださる。感謝しかない。
- ・初めて英語の授業を教えて、日常的に英語を使っていくことの大切さを感じた。ハロウィンパーティーやクリスマスパーティーなど、異学年と交流しながら行う授業が楽しかった。児童も教え合いをして、英語が身についたと思う。しかしながら、授業の打ち合わせを事前になかなかできなくて、困ることもあったので、打ち合わせ時間の確保に努めたい。
- ・低学年からの英語学習を大変よいと思うが、子どもたちの中には「きれい」という子がいる。1年間に指導する事項をもう少し少なくしてもよいのかなと思う。また、12月に行うヒアリングテストはどのように生かされているか知りたい。
- ・英語を理解できる子は楽しんで活動しているが、理解できない子たちがつまらなさそうにしているのが見て取れた。英語が苦手な児童（特に低学年）では、どのように支援していけばいいか悩んでいる。
- ・JTEの先生がすばらしいPPTを準備してくださり、とても楽しくスムーズに授業できました。

【別表4】令和4年度 教育課程特例校に関するアンケート（保護者）金武小学校

令和4年度 英語活動に関するアンケート（保護者用）集計表 金武小学校



保護者へ行ったアンケートには、下記のような感想が寄せられた。（抜粋）

- ・ 英語に接する良い機会だと思います。
- ・ キャンプハンセンの子供達とも交流する機会が持てると、英語への関心を持つきっかけになるのでは？
- ・ 児童英検について、全学年が積極的にチャレンジできるようにしてほしい。
- ・ 他の外国語の授業もあり興味のあるものから生徒が選んで学べる主体性のある授業があるといいですね。国の仕組みが変わるといいです。
- ・ 保育園などでは外国人を招いて英語を楽しむ時間がありました。難しいとは思いますが、習ったことを活かすそういう時間があればいいと思います。
- ・ もう少し難しいレベルで取り組んでもよいのでは、と思います。
- ・ たまに学校で習っただろう英語の単語が会話のなかで出てきます。
- ・ 一年生から英語の学習をするのはとても素晴らしい事だと思います。これからも継続してほしいです。
- ・ 外国の方（基地内の小学生）とスポーツ交流等があればいいな。と思います。
- ・ 外国人の先生の話をよくします。本場の外国人から学べる機会はありがたいので、今後も増やしてほしいです。
- ・ 保育園に通っている時から、月に一度のペースで、米軍基地の方々と交流していたので、外国人の方を身近に感じている様に感じます。また、低学年から、英語の授業があるので、英語の歌を口ずさんだり、単語が出てきたり、日本以外の国のことにも興味があるように感じます。金武町は、海外移民の父、當山久三さんの出身地と言うこともあり、学生の国外へのホームステイなどの取り組みや、英語の授業が充実していると思います。これからも、子供達のために継続してほしいと思います。

・母国語だけでなく、多言語に触れられることは、大切な学びにつながっていると思います。子供達の学びにいつもご尽力下さり、本当に有り難うございます。

・いい取り組みだと思います。

・家で単語を話していて、勉強していることを楽しそうにしている。もっと厳しく教えて、英語力を身につけてもらいたい。

・もっと授業を増やしてもいいと思います。

・英会話を、もっと取り入れて欲しいです。

・他国に比べて日本は先進国なのに英語教育の遅れが明らかです。むしろ、学校では英語での授業をするべきだと思います。

・英語の授業がとても楽しいようで、よく家庭で話題に出ます。なかなか外国に行くこともできないので、アメリカンスクールの子供も達や外国の文化に興味が出たりと、楽しみも広がるのではないかと思います。

・英検も英検 Jr のように金武町の補助金を利用して学校で実施して貰えたら嬉しいです。